



2026年12月期 第1四半期決算説明資料

株式会社フツパー

東証グロース市場 (478A) 2026.5.14

KPI実績 (2026年12月期1Q)

POINT

売上高は296百万円（前年同期比▲3%）、営業利益率は19%の56百万円（前年同期は115百万円）と概ね当初の業績予想通り進捗。

エンジニアを中心とした高い技術力と現場実装力により、継続顧客売上高は204百万円と高い水準を維持。一方で、新規引き合いも強く、26/12期1Qの取引社数は前年同期比37社増の115社となった。

売上高

296百万円

前年同期比▲3%

(前年同期は307百万円)

営業利益

56百万円

営業利益率 19%

(前年同期は115百万円)

受注残高

531百万円

前年同期比+57%

(前年同期は337百万円)

取引社数

※各期で累計

115社

前年同期比+37社

(前年同期は78社)

継続顧客売上高^{※2}

204百万円

前年同期比▲20%

(前年同期は254百万円)

ライセンス収入^{※1}

29百万円

前年同期比+49%

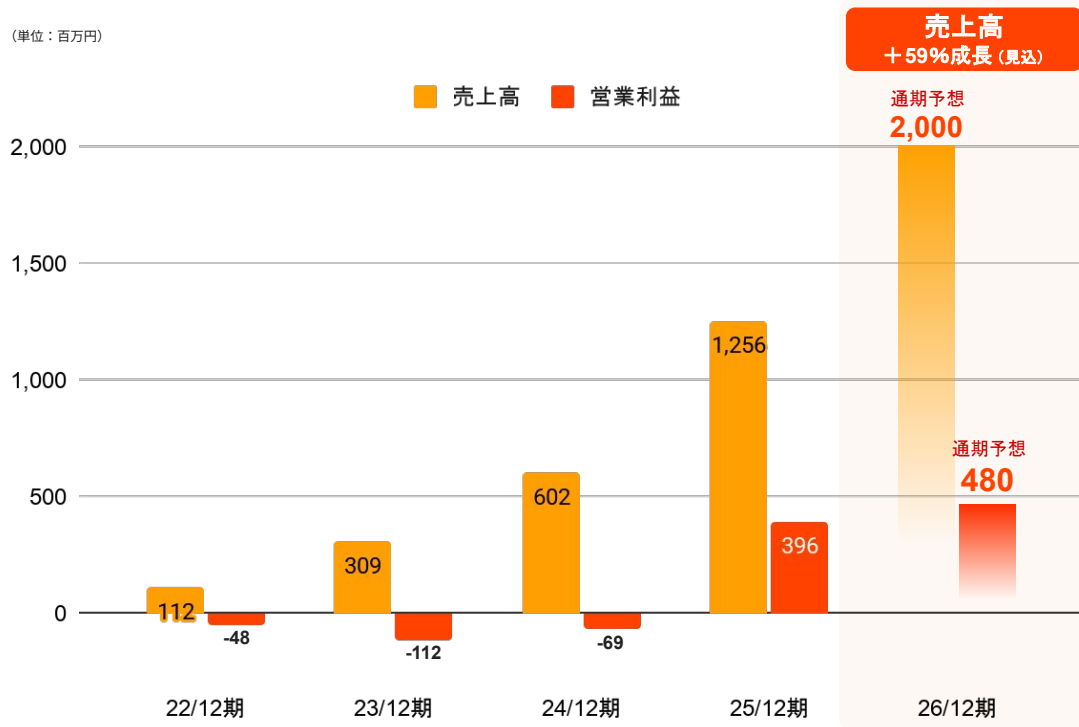
(前年同期は19百万円)

※1 ライセンス収入：AIプロダクトの月額利用料の合計（主にメキキバイトのHutzper Insight、スキルパズルの利用料）

※2 継続顧客売上高：当該年度の売上高 - 当該年度のライセンス収入 - 当該年度の新規顧客売上高

新規顧客売上高は当該年度のライセンス収入を除く新規顧客（過年度に取引のない顧客）からの売上高主として過年度に取引した顧客からの別の製造ラインにかかるAI構築や過去実施した分析案件の次フェーズの売上等より構成される。

下期偏重となる傾向は続くも、売上高は右肩上がりの成長を維持。
先行投資を推進しつつ、収益性の確保を両立。



売上高成長率 (見込)
+59% (26/12期 通期)

通期営業利益 (見込)
480 百万円

売上高成長継続

顧客からの受注を中心に、新規顧客の獲得も着実に積み上げ安定成長を実現。売上高成長率は59%を見込む。

安定した黒字体制

2025年12月期の黒字化以降、中長期の成長へ向けた先行投資を実施しながら収益性の確保も同時に実現。
今後も売上拡大に伴い、増収増益を見込む。

資料目次

- 1 2026年12月期 1Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 成長戦略
- 4 Appendix

1 2026年12月期 1Q実績

1Qの実績について

- 1 2026年12月期 1Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 成長戦略
- 4 Appendix

2026年12月期 1Q損益計算書

業績は概ね予想通りに進捗。人件費を中心とした積極的な成長投資を実施。

(単位：百万円)	2025年12月期 1Q実績	2026年12月期 1Q実績	増減額	増減率
売上高	307	296	▲10	▲3%
売上原価	88	89	+1	+1%
売上総利益	218	207	▲11	▲5%
↳ 売上総利益率	71%	70%	—	▲1pt
販売費及び一般管理費	102	151	+48	+47%
営業利益	115	56	▲59	▲51%
↳ 営業利益率	38%	19%	—	▲19pt
経常利益	123	60	▲63	▲51%
当期純利益	104	41	▲62	▲60%

売上高

前年同期はハードウェアを中心に大型案件の納品が集中したため、売上高は前年同期比でマイナスとなる。一方で、メキキバイトをはじめとした継続受注や新規プロダクトの拡販により、売上高は296百万円と当初の予想通り進捗。2Q以降に複数の大型案件の納品を控えており、通期も予想通り着地見込み。

売上原価・売上総利益

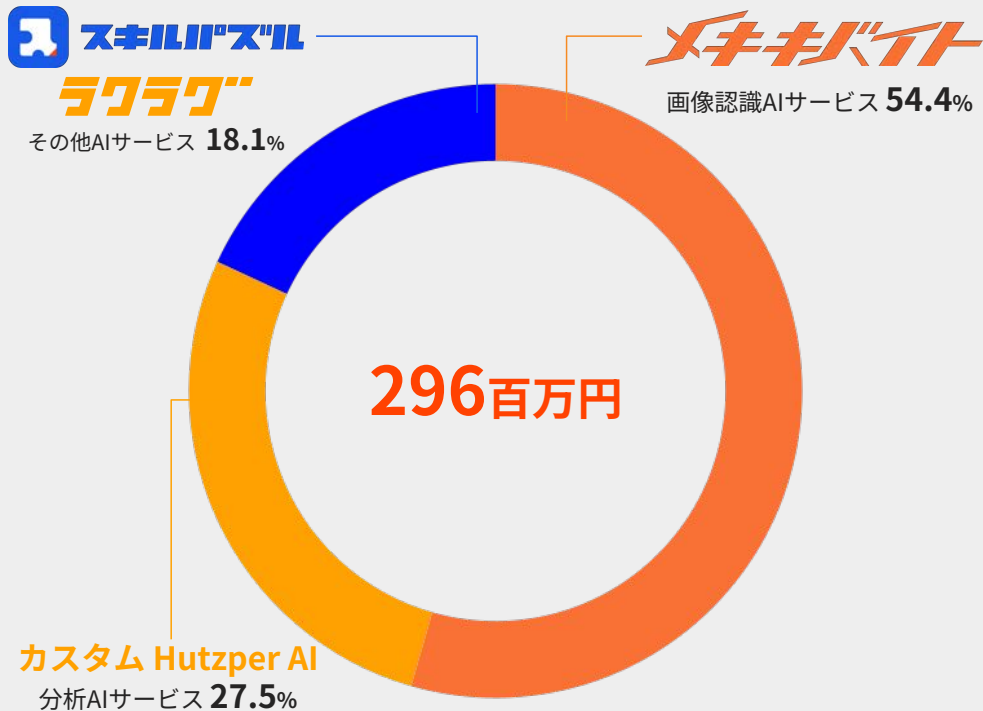
分析・その他AIサービスの比率が高く、予想に比べ粗利率が若干改善。

販管費・営業利益

人材採用による人件費・採用費、リード獲得強化のための展示会出展等、投資計画も予想通り進捗。一時的に利益率は減少するも、売上高拡大に伴い増収計画。

売上高のサービス別構成

(2026年12月期 1Q実績)

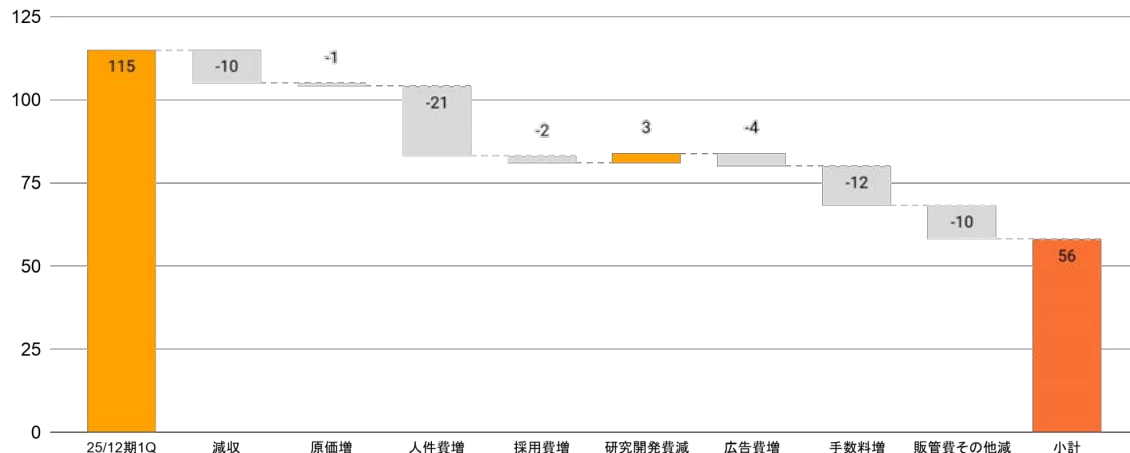


POINT

外観検査AI「メキキバイト」を中心とする画像認識AIサービスが売上高全体の半数を占める。主にエンタープライズ向けのAI構築を行う分析AIサービスが30%弱、残りは新規商材である人員配置AI「スキルパズル」、ローカルLLM「ラクラグ」が占める構成。

2026年12月期 1Qの営業利益の主な増減内訳

(単位：百万円)



売上総利益

売上が前年同期比▲3%となった結果、売上総利益は11百万円の減少。

販売費及び一般管理費

成長投資として人件費21百万円、広告費4百万円、支払手数料12百万円の増加等により販管費が48百万円増加した結果、営業利益は56百万円で着地。

(単位：百万円)

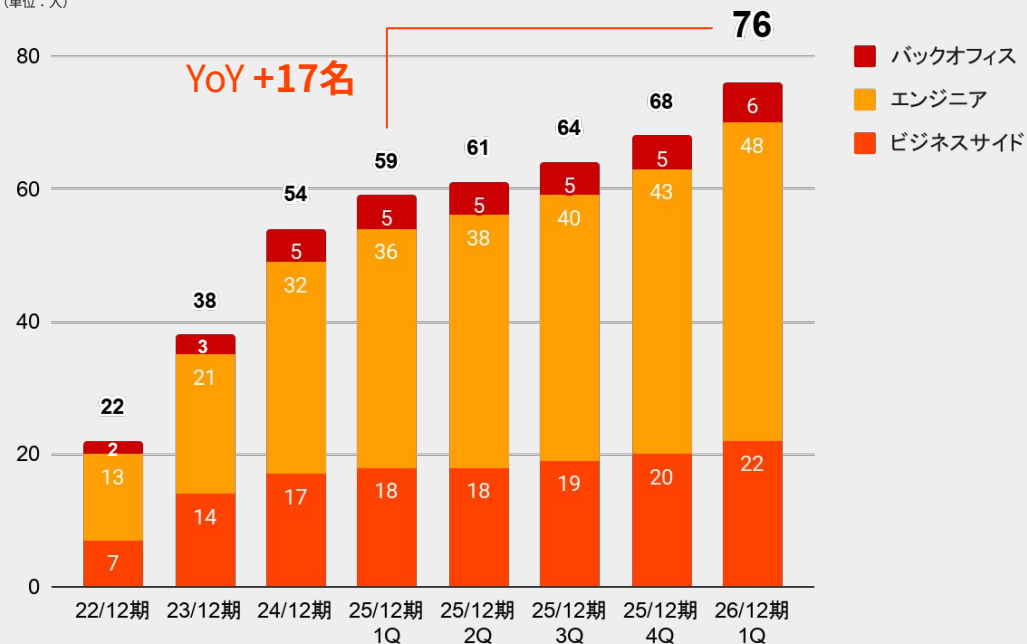
	25/12期1Q	26/12期1Q	前年同期比	主な要因
人件費	52	74	+21	従業員の増加
採用費	1	3	+2	従業員増加に伴う採用費
研究開発費	15	12	▲3	物品購入の時期ズレ
広告費	5	9	+4	複数展示会への出展
支払手数料	11	24	+12	従業員数の増加、CRMツールの導入
その他経費	16	26	+10	移転に伴う賃料増加、減価償却費の増加
販売費及び一般管理費 合計	102	151	+48	

正社員数の推移

POINT

サービスの安定供給および継続的なプロダクト開発のため、エンジニアを中心に各部門バランスよく採用活動を継続。

(単位：人)

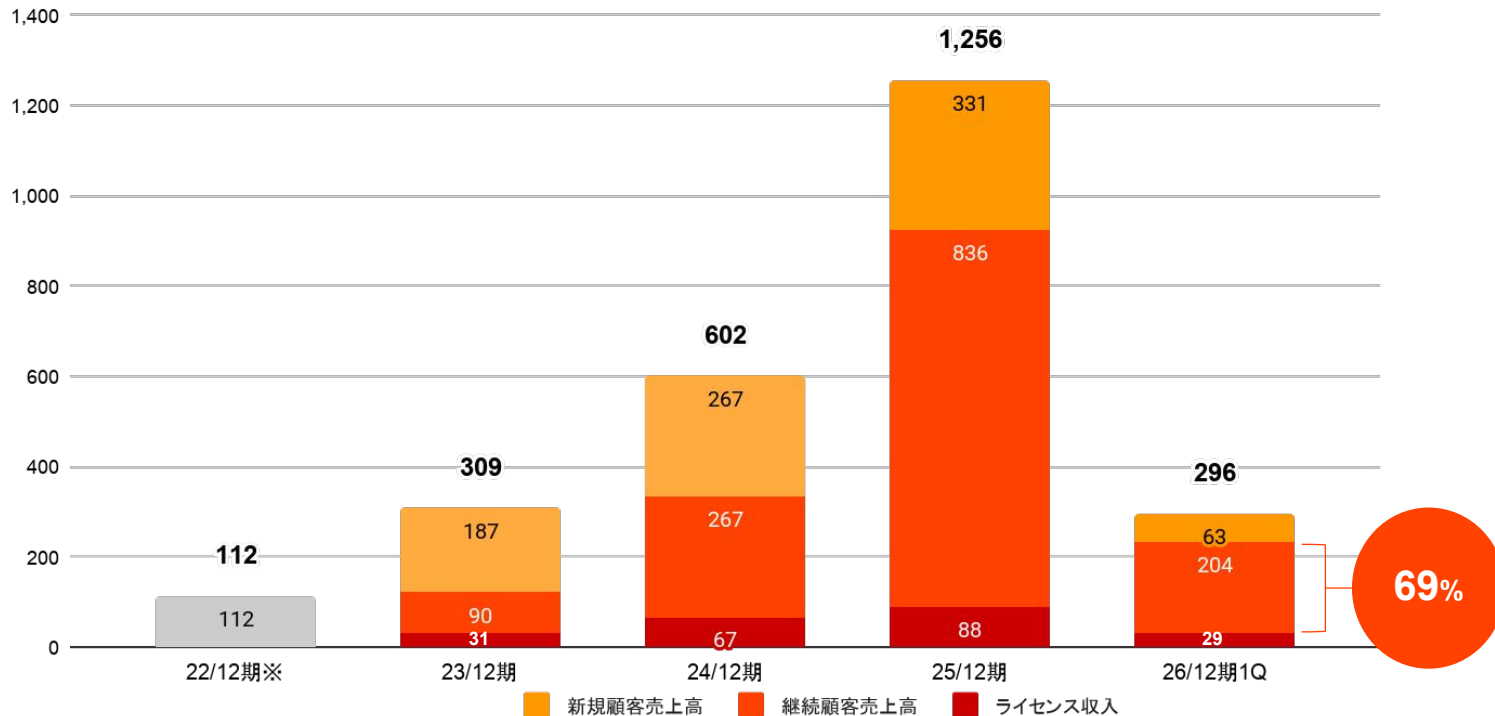


※ インターン・アルバイト除く

継続顧客売上高及びライセンス収入の推移

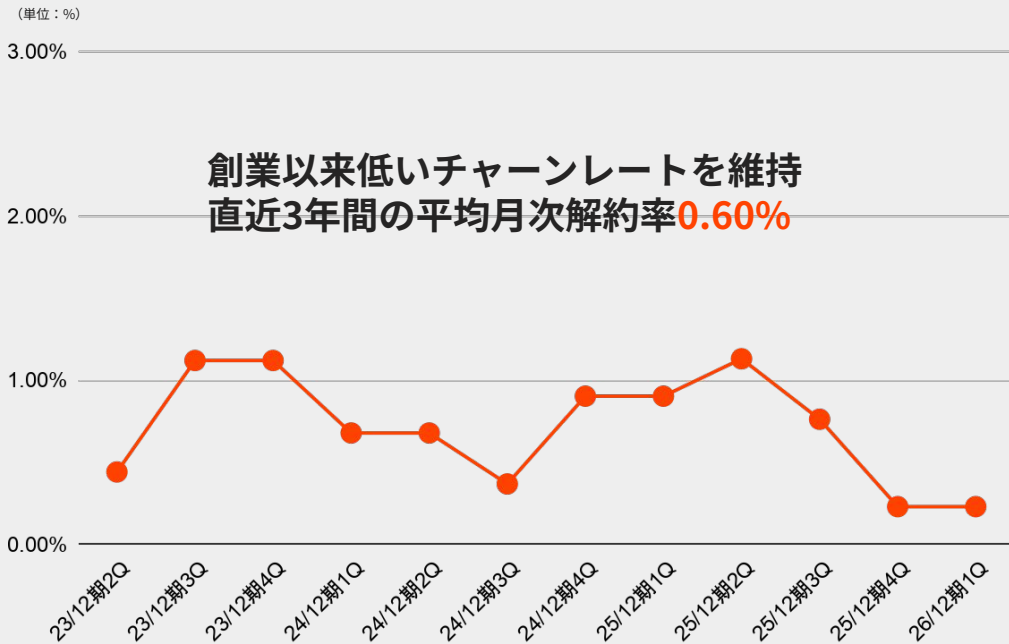
高い継続顧客売上高を維持し、新規顧客も着実に積み上げ。

(単位：百万円)



※ 2022/12期は決算期変更につき、9ヶ月間の実績

メキキバイトのサブスク解約率



市場定着が進み、解約率は**0.23%** プロダクトへの信頼が拡大

解約率 ※1

0.23%

(2026年12月期1Q時点の12ヵ月平均)

主な解約ケース

- 対象製品の生産終了
- 投資期間の制約や業績悪化に伴う中止
- 特定品種や項目の追加等に伴う計画変更

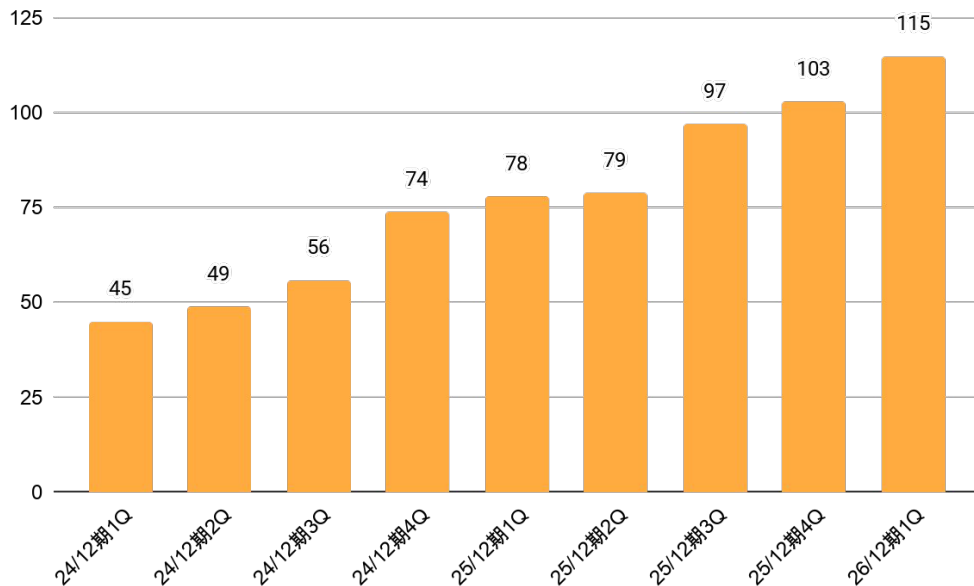
...etc

※1 月中の解約額 ÷ 前月末のライセンス収入 × 100 (%) の対象期間12ヵ月の平均
※2 解約額及びライセンス収入は「Hutzper Insight」の金額を集計しております

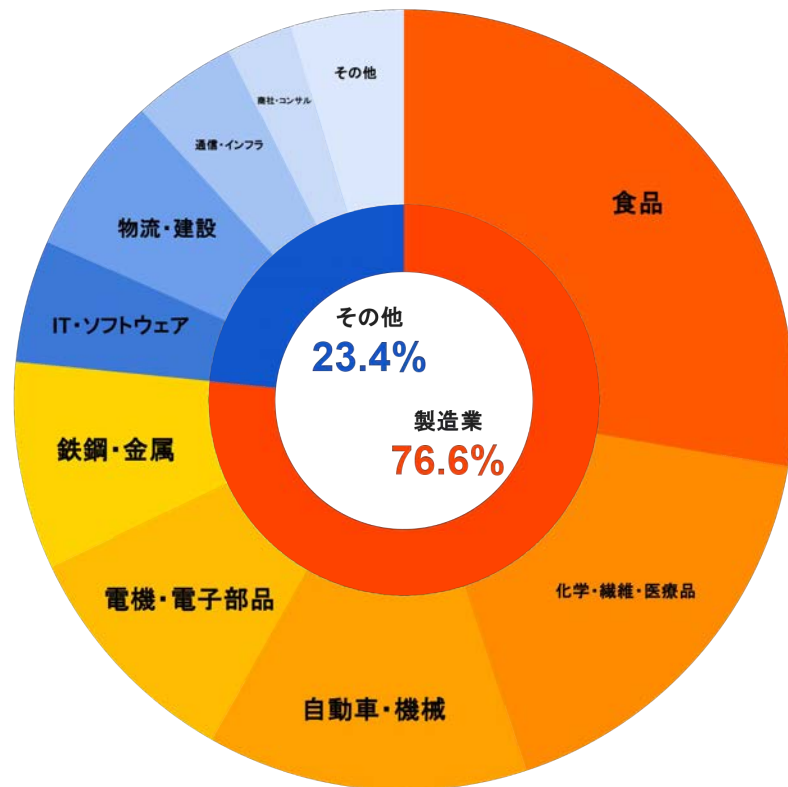
取引社数の推移

四半期ごとの取引社数は年々増加傾向。
製造業を中心に、幅広い業界にサービスを展開。

取引社数推移

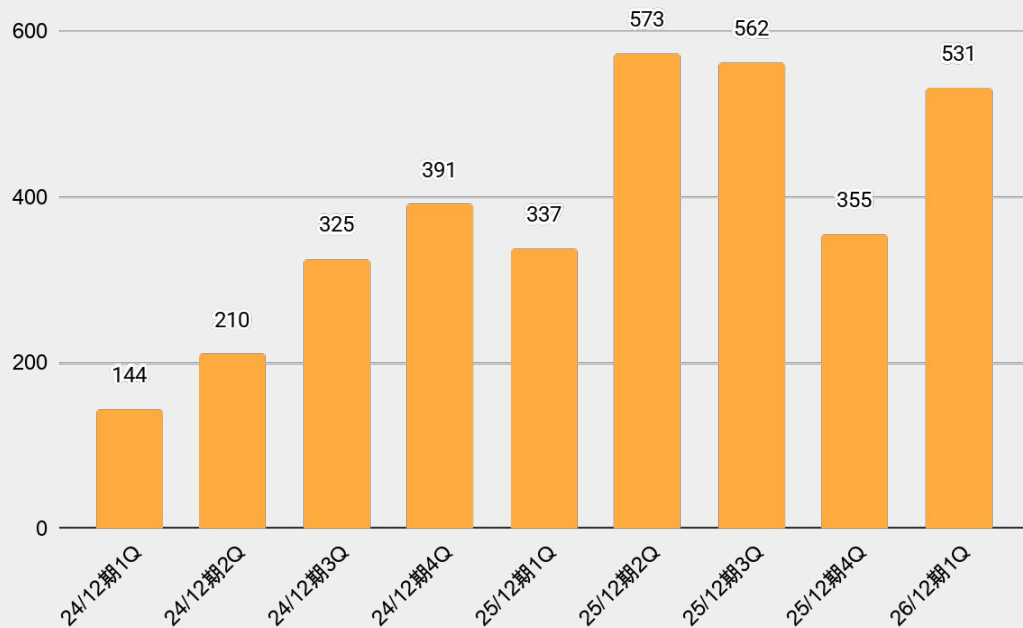


取引社数の業界別内訳



受注残高の推移

(単位：百万円)



POINT

大型案件の受注に伴い、受注残高は前年同期比193百万円増加の531百万円で着地。

売上高の半数以上を占める継続顧客からの受注は、例年2Q～3Qに集中する傾向に。

2026年12月期 通期売上高予想

通期業績予想は現時点で据え置き。2Q以降の売上高は受注残高5.31億円に加え、決算発表日時点の大型案件の獲得、ベースとなるライセンス収入の拡大及び継続受注案件の納品を予定、業績予想は達成を見込む。

通期業績予想 (単位:百万円)

2,000

1Q実績 (単位:百万円)

296 進捗率 (14.8%)

POINT 通期計画達成に向けた見通し

① 強固な受注残

前年同期比+57%の受注残高に加えて、決算発表日時点で大型案件（※）を獲得済み。当期納品予定分が順次、売上へ貢献する見込み。

② 安定したストック収益

新規受注だけでなく、受注残とは別に既に契約済みのサブスクリプション等による安定した見込みライセンス収入がベースを下支え。

③ 下期偏重の季節性

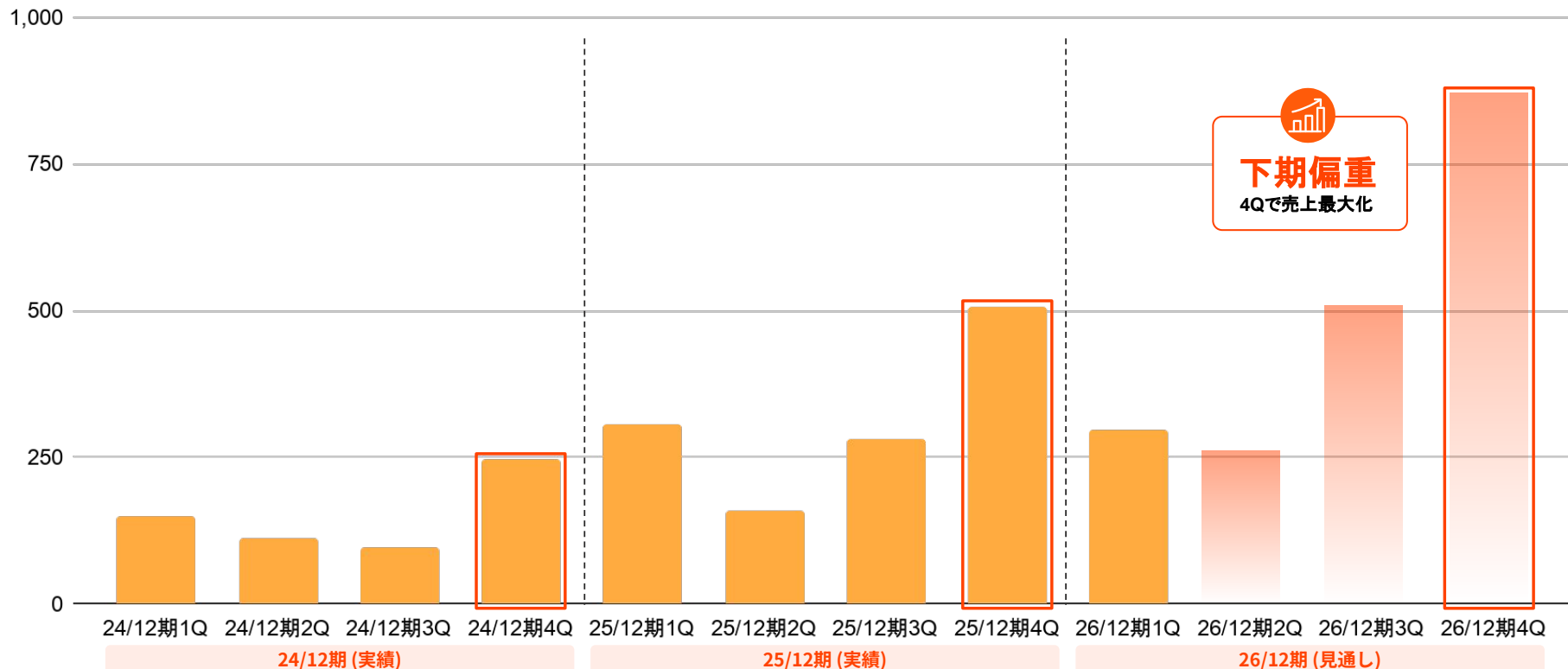
売上高の半数以上を占める継続顧客からの受注は、例年2Q～3Qに集中する傾向があり、それらが同一年度内に納品される見通し。

※GENIAC採択案件など。ただし、大型案件の中には複数年度にまたがるものもあり、受注額全額が今期売上となるわけではありません。

売上高の偏重に関して

POINT 会社が成長フェーズにあり期末にかけて売上が増加傾向、2026年12月期も同様に下期偏重となる見通し。

(単位：百万円)



2026年12月期 貸借対照表

昨年 of 公募増資により現金及び預金は1,926百万円、自己資本比率は91%。
2Q以降の継続的な成長投資を見据え十分な財務健全性を確保。

(単位：百万円)	25/12期	26/12期1Q	前期比
流動資産	2,305	2,257	▲48
現金及び預金	1,895	1,926	+31
売掛金及び契約資産	364	260	▲103
その他	46	70	+24
固定資産	49	79	+29
資産合計	2,355	2,336	▲18
流動負債	227	158	▲69
買掛金	4	9	+4
1年以内返済予定の長期借入金	11	15	+4
未払法人税等	70	23	▲46
未払消費税等	67	16	▲51
その他	73	92	+18
固定負債	57	52	▲4
長期借入金	46	42	▲4
資産除去債務	10	10	+0
負債合計	284	210	▲74
純資産合計	2,070	2,125	+55
負債・純資産合計	2,355	2,336	▲18

資産

前期末の売掛金回収等により、現預金は微増。固定資産の増加は、主に業務用パソコンの購入による。

負債

法人税等の納付に伴い、流動資産は減少。

純資産

四半期純利益の計上 (+41百万円) 等により、純資産は増加。

最新ニュース

1Q 事業ハイライト：拠点・組織展開



KANTO BRANCH 関東支社の移転

さらなる事業拡大と採用強化を見据え、関東支社を移転。首都圏の主要クライアントとの連携を深化させ、組織の成長スピードを加速させます。



EXPANSION 名古屋支社の常駐体制強化

日本最大の製造業集積地である東海エリアにおいて、地域密着型の営業・サポート体制を強化。常駐化により、現場のニーズに即した迅速なソリューション提供を実現します。



GLOBAL タイ駐在員事務所の設立

日系企業の進出が盛んな東南アジアの製造拠点に向けた支援を本格化。タイ事務所を起点とし、海外市場におけるAIソリューションの展開を加速させます。

最新ニュース

1Q 事業ハイライト：プロダクト・R&D

スキルパズル：人員配置最適化AI



スキルマネジメント機能を大幅強化 単体プラン新設

製造現場で課題となる「力量管理の形骸化」や「属人化リスク」を解消するため、スキル・教育履歴・資格情報を一元管理できる機能を実装。

監査対応や人員配置の判断に必要な情報を可視化し、現場の教育計画と多能工化を支援。併せて、スキル管理に特化した単体プランを新設。

リアラボ：製造業特化型LLM



現場の暗黙知を デジタル化

ロート製薬と共同開発したR&D向けAIエージェント。熟練者の知見や探索プロセスを学習し、標的探索工程の大幅短縮を目指す。

研究開発の初期検討を高速化するとともに、製薬・化学領域を中心に、製造業の新たな研究開発支援へ事業領域を拡大。

GENIAC：製造業AI開発プロジェクト



経済産業省 「GENIAC」プロジェクトに採択

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業において、製造業データなどのAI-Ready化に関する研究開発テーマで採択。

NEDOおよび主要製造企業と「AI-Driven Manufacturing基盤の研究開発」に関する共同開発を通じ、製造現場で活用可能なAI基盤の社会実装を目指します。

2 2026年12月期 業績予想

2026年12月期の予想と進捗について

- 1 2026年12月期 1Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 成長戦略
- 4 Appendix

2026年12月期 業績予想

公募増資で調達した資金をもとに、中長期の事業成長のための積極的な投資を見込む。既存プロダクトの拡販等により売上高の成長を継続し、2026年12月期は増収増益計画。

(単位：百万円)

	2025年12月期	2026年12月期	増減額	増減率
売上高	1,256	2,000	+744	+59%
売上原価	439	687	+247	+56%
売上総利益	816	1,313	+496	+61%
↳ 売上総利益率	65%	66%	+1pt	—
販売費及び一般管理費	420	832	+412	+98%
営業利益	396	480	+84	+21%
↳ 営業利益率	32%	24%	▲8pt	—
経常利益	385	481	+96	+25%
当期純利益	304	347	+43	+14%

売上高・売上総利益

業務提携の推進等により、新規案件の獲得に注力。また、継続顧客へのアプローチも継続することで売上高は2,000百万円を見込む。売上総利益率は同水準を維持。

営業利益・経常利益

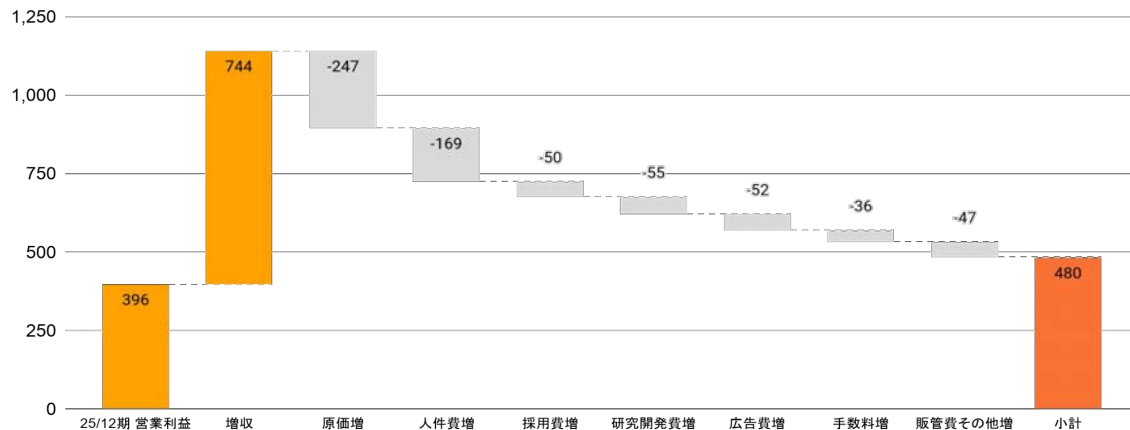
増収の一方で、中長期の事業成長のための投資（人件費、研究開発費、その他諸経費等）による費用増加あるため、営業利益は480百万円（+84百万円）、営業利益率は24%を見込む（▲8pt）。

当期純利益

当期に繰越欠損金を解消したことにより、法人税額が増加すると想定し、当期純利益は347百万円を見込む。

2026年12月期業績予想の営業利益の主な増減内訳

(単位：百万円)



売上総利益

744百万円の増収に対して売上原価の増加は247百万円となり売上総利益は496百万円の増加。

販売費及び一般管理費

公募増資を資金に積極的な成長投資を予定。継続的な人材採用に加え、新規プロダクトの開発や認知度向上・市場拡大のための展示会出展等を計画。その他経費では、拠点の移転・設立等に伴い賃料・減価償却費等が増加。

(単位：百万円)

	2025年12月期	2026年12月期	前期比	主な要因
人件費	232	402	+169	従業員の増加
採用費	6	57	+50	従業員の増加
研究開発費	35	91	+55	新規プロダクトの開発
広告費	14	66	+52	展示会出展
支払手数料	58	95	+36	従業員の増加
その他経費	72	119	+47	拠点の移転・設立に伴う賃料・減価償却費等
販売費及び一般管理費 合計	420	832	+412	

予算進捗

1Qは概ね予想通りに進捗。2Q以降も人件費を中心に、プロダクト開発のための研究開発費やリード獲得強化のための展示会出展など、当期の業績達成及び翌期以降の成長性維持のための積極投資を継続予定。

(単位：百万円)	2026年12月期 1Q実績	2026年12月期	予算進捗
売上高	296	2,000	15%
売上原価	89	687	13%
売上総利益	207	1,313	16%
↳ 売上総利益率	70%	66%	—
販売費及び一般管理費	151	832	18%
営業利益	56	480	12%
↳ 営業利益率	19%	24%	—
経常利益	60	481	13%
当期純利益	41	347	12%

売上高

継続顧客売上を中心に着実に積上げ、1Q実績は予想通りに進捗。売上高296百万円と予算に対しての15%の進捗であり、2Q以降はエリア拡大や複数展示会出展等、既存・新規ともにさらなる受注を積み重ねることで業績達成見込み。

売上原価・売上総利益

案件構成の平準化により、売上総利益率は想定どおりに着地見込み。

販管費・営業利益

将来の成長のため、人員増・採用強化・拠点拡大等を実施。2Q以降も積極的な成長投資を継続するが、営業利益は想定どおり増収見込み。

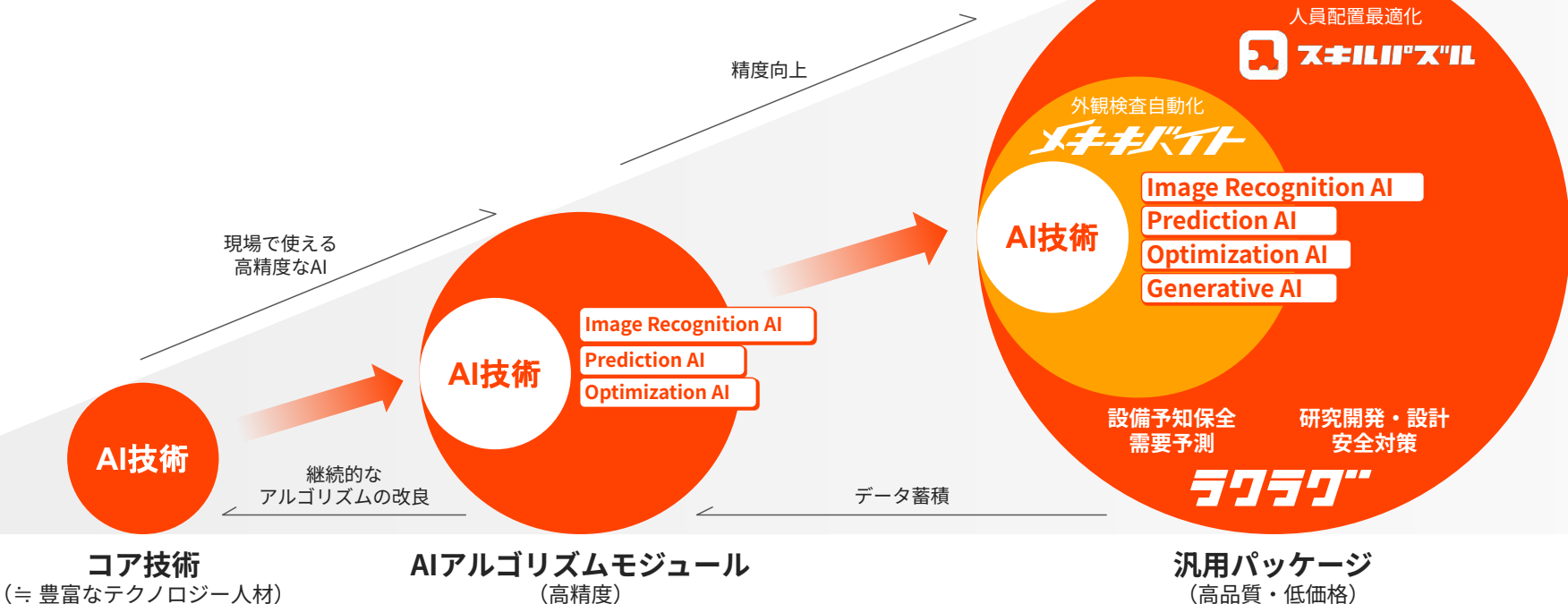
3 競争力の源泉・成長戦略

フツパーの競争力・今後の成長戦略について

- 1 2026年12月期 1Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 競争力の源泉・成長戦略
- 4 Appendix

競争力の源泉

コアテクノロジーは、高品質なAI
いち早く現場投入し、大量のデータを蓄積、**精度向上**を繰り返す



※ Image Recognition AI : 画像認識AI、Prediction AI : 予測AI、Optimization AI : 最適化AI、Generative AI : 生成AI

AI現場実装力

現場に根ざしたAI導入力

必要なハード～ソフトまで、製造現場の課題をワンストップで解決できるAIソリューションを提供
現場のノウハウ、スケール可能なプロダクト、膨大なデータに裏打ちされたAI現場実装力が強み

コアテクノロジー



フツパーの強み



ノウハウ

製造現場にAI技術を導入するためのノウハウ
マニュアルにない≡ネット上にない情報と経験の保有



プロダクト

AI技術を道具として活用してもらうためのプロダクト
特定用途に特化しユーザーへの提供価値を集約・最大化



データ

最大限にAI技術の価値を高めるフィジカルなデータ
インターネットの外の領域にある膨大なデータを蓄積

AI学習用のデータ収集に
関する仕組みで特許取得

テクノロジー人材

現場の課題解決に必要な技術を網羅

エンジニアが正社員全体の6割以上を占め、高い専門性を有したエンジニアが各領域において在籍現場の課題解決に必要な技術を網羅し、総合的なサービス提供ができることが当社独自の強み

6割以上がエンジニア

組織名		役割	保有技術	人員数 (人)
AIエンジニアリング部	PM (プロジェクトマネージャー)	顧客の技術面の課題抽出及びプロジェクト全体のマネジメントを行う。	製造工程、品質管理、生産管理に関する知見	11
	ソフトウェアチーム	製造現場で使用するソフトウェアの開発	プログラミング	9
	ハードウェアチーム	コンベアや排除機構等の製造ラインの設計・組立・設置	ハードウェア設計 電気回路構築	7
	AIチーム	顧客の製造現場、製造物に対応した光学設計からAI構築及び学習	光学設計 AI構築	7
プロダクト開発部		Hutzper Insightならびにスキルパズルの開発、ウェブサービスの個別開発。	Webサービス開発 デザイン	7
データサイエンス部		カスタムHutzperAIの提供及びAI技術の調査・研究開発。	AIリサーチ データサイエンス AIを活用したコンサルティング	7

※ 2026年3月31日時点の人員構成を記載しております。

競争優位性

製造業のようなリアルな現場をもつ産業に対して”高度なAIソリューションを提供”



POINT

既存のAIベンダーで当社のように特定業界に特化し、プロダクトを有して課題解決に取り組んでいる会社は少数。

特に外観検査領域においては、導入して終わりのAIセンサ及びAI機能を持つ装置を提供している会社は存在するが、当社のようにクラウド経由で継続的な再学習を支援し、大量の現場データを保有する会社はないと思われる。

生成AI進化下における当社の競争優位性

”一気通貫の技術統合力”でフィジカルAI時代に求められる現場価値創出を実現

生成AIの進化（Anthropic Shock）により、AIモデル単体の提供や汎用SaaSは差別化が難化する一方、AI実装を担うSI(※1)ニーズは拡大。
当社が注力するフィジカル領域では、AI・ソフト・ハードの技術統合が不可欠で、需要拡大に対し実装まで担えるプレイヤーは限定的。

生成AIでは代替困難な“現場統合型AI”の構造（メキキバイト）



※1 SI(System Integration):ソフトウェアやハードウェアを組み合わせ、要件定義から実装まで統合的にシステムをに提供すること。
※2 VLM(Vision Language Model):画像や動画(Vision)とテキスト(Language)を同時に理解・処理できるAI技術。

AI価値創出のレイヤー構造と当社のポジション

インフラレイヤー（計算資源・基盤）

クラウド / GPU / ネットワーク

ファウンデーションモデルレイヤー（知能）

LLM / VLM(※2) / 音声モデル

アプリケーションレイヤー（機能）

SaaS / デベロッパーツール / UI

業務実装レイヤー（適用）

SI / コンサル / AIベンダー

フィジカルAIレイヤー（統合）

当社（現場統合型AI）

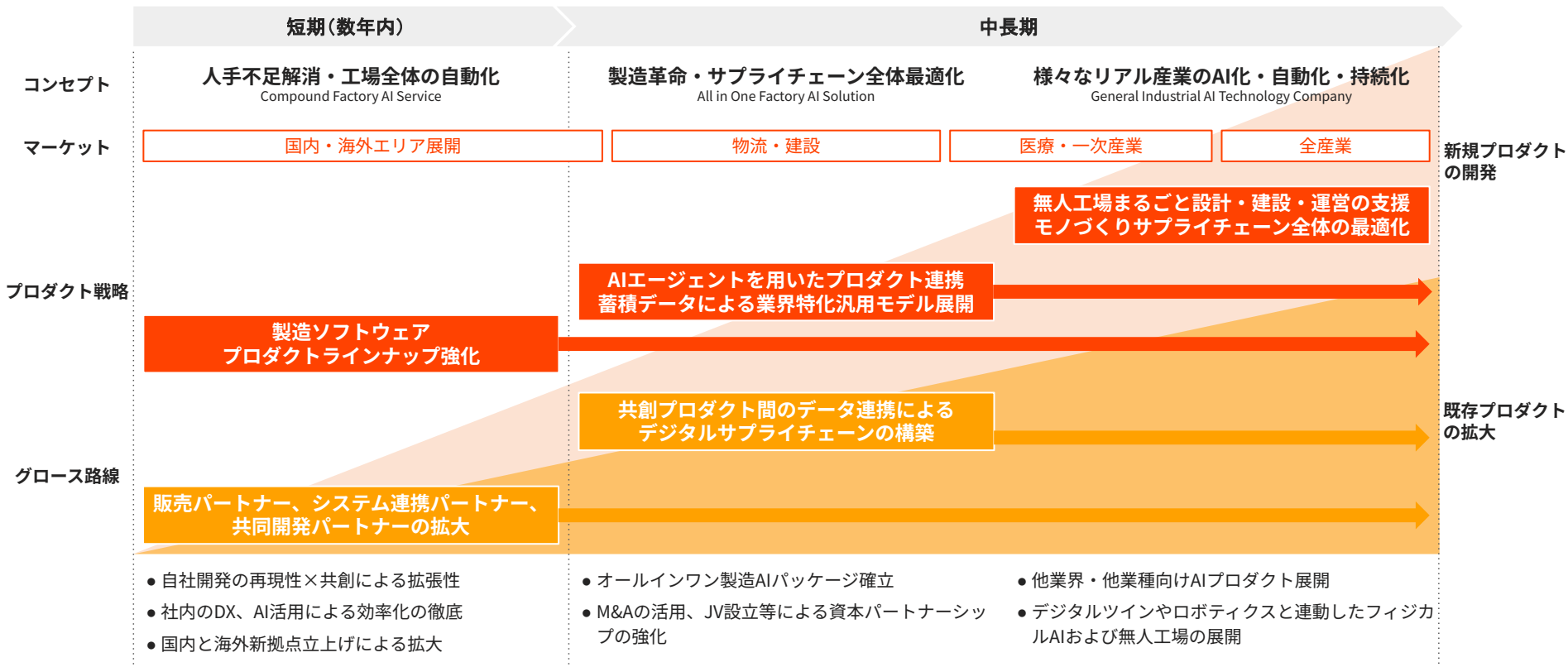
フィジカルAI企業 / FA機器メーカー / ロボティクス企業
データ取得、制御、システム統合（AI×ソフト×ハード）

リアル現場（価値創出）

工場 / 設備 / 作業

成長戦略

短期的にはプロダクトの強化・開発、複数拠点展開やパートナーを活用した販路拡大を行っていく。その後は、AIエージェントによるプロダクト連携や蓄積されたデータを活用したAIモデル開発等によりサプライチェーン全体の最適化を進める計画。



成長戦略の二軸展開

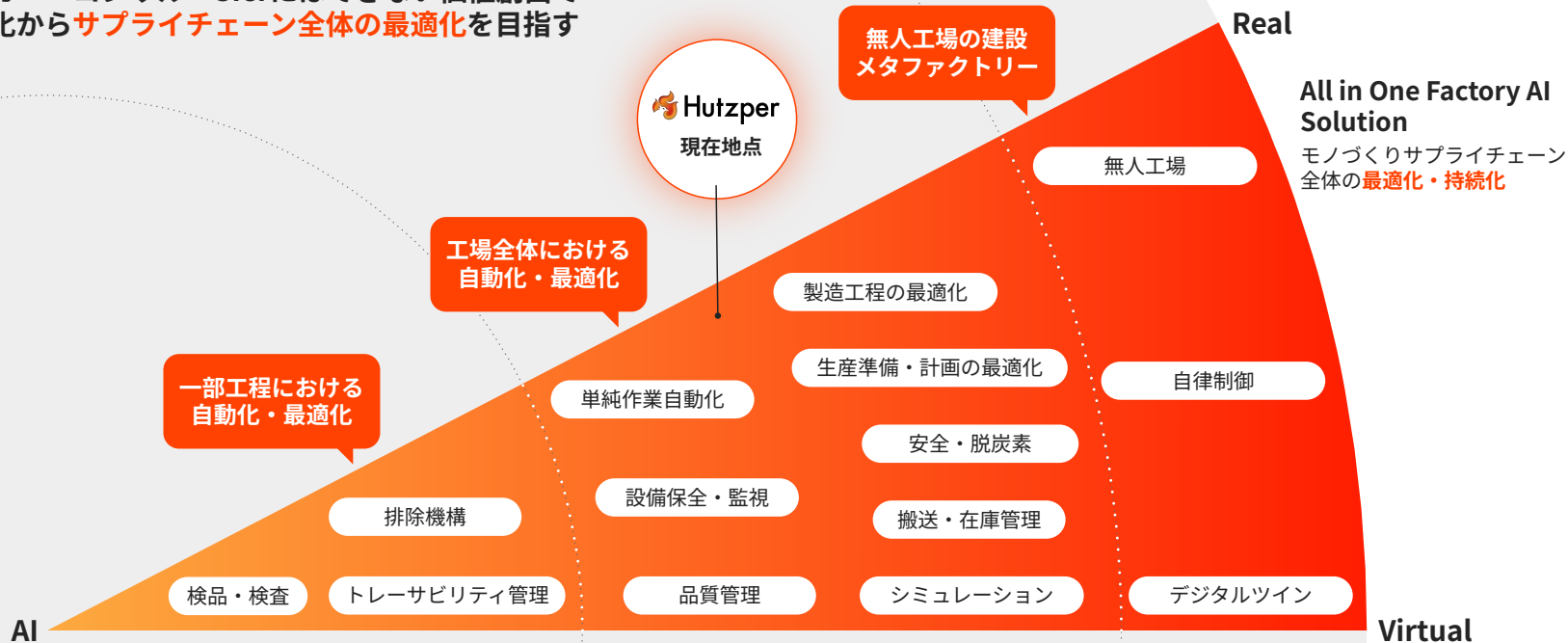
プロダクト展開は製造領域に特化、AI技術提供は業種問わずサポート

製造現場で培ったノウハウや知見、技術・技能だけでなく、モノづくりの誇りや考え方、概念を継承し、他業界の改善に活かすデータとAIの仕組みで次世代に翻訳し、モノづくりの広義化を目指す。



製造領域ロードマップ

ハード+ソフトでリアルな課題解決にこだわり
単体のメーカー・コンサル・SIerにはできない価値創出で
部分の自動化から**サプライチェーン全体の最適化**を目指す



オールインワン製造AIプラットフォーム

サプライチェーン全体の最適化を実現できるよう、既存領域だけでなく、製造分野においてさらなる事業展開を進めていく。

個別AIソリューション

AIエージェントによって適宜活用され、分析結果、実行状況をAIエージェントにフィードバック



AIエージェント

現場作業や管理者が自然言語でシステムに問い合わせ・指示をおこなう。AIが対話形式で提案・応答する。
AIエージェントが各個別AIソリューションを横断的に可り、設定変更や問い合わせに対して最適解を自動的に実行・回答。

- 既に提供済みの領域
- 今後サービス提供を検討する領域



データ基盤

工場設備・IoTデバイス・管理システムなどからデータを取得

データレイク / DWH

工場内のリアルタイムデータや管理データを統合・蓄積

稼働/状態監視

(リアルタイムデータ)

管理データ

(生産計画/在庫/点検記録/動怠等)

検査/監視

(画像/動画)



PLC



IoT



MES/SCADA



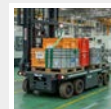
MRP/ERP



労務/保守管理システム等



カメラ



ドローン/AGV

4 Appendix

その他の参考資料

- 1 2026年12月期 1Q実績
- 2 2026年12月期 業績予想
- 3 競争力の源泉・成長戦略
- 4 Appendix

MISSION

最新テクノロジーを 確かな労働力に

会社情報



社名	株式会社フツパー（英文名：Hutzper Inc.）
創業日	2020年4月1日
資本金	8.3億円（資本剰余金含む 20.0億円）
代表者	大西 洋
社員数	97名（アルバイト・インターン含む ※2026.3.31時点）
事業概要	製造業向けAIサービスの提供
事務所	大阪本社：大阪府大阪市淀川区西中島1-11-16 関東支社：東京都千代田区一番町19
取得資格	ISO/IEC 27001:2022 および JIS Q 27001:2023（ISMS認証） 認証登録番号：IS 811223 認証事業所：大阪本社および関東支社 認証取得日：2024年10月21日

創業ストーリー

製造業は国内GDP2割を占める基幹産業
その最大課題である人手不足を
テクノロジーで解決

創業当初の課題感



実社会へのAI導入が進まない
大半がPoC止まり、価格も高額
製造業の人手不足が深刻
人がこない、職人は高齢化
地方、中小企業でDXが進まない
サプライチェーンの維持が困難

世の中的にはAI技術が注目される中で
実際の現場にはほとんど導入されていない

全ての製造現場で使えるAIサービス（メキキバイト）

いつでも解約可能な月額課金制



PoCで終わらず、費用対効果が見込める

製造業特化のワンストップ支援



必要なハードとソフトに全て対応

現場とクラウドのハイブリッド



機械的制御は現場完結のエッジAI、人が取り扱う情報はクラウド提供

モノづくりシステムのこれまで



在籍メンバー

(2026.3.31時点)

バックオフィス

ビジネスサイド

エンジニア

97名

※ アルバイト・インターン含む

- AIエンジニア
- 画像処理エンジニア
- 光学エンジニア
- 電気回路/制御エンジニア (PLC等)
- ハードウェア設計エンジニア
- データサイエンティスト
- 現場DX PJマネージャー
- 品質管理部出身メンバー
- 生産技術部出身メンバー
- 戦略コンサルタント

経営メンバー

代表取締役社長CEO

大西 洋



兵庫県出身。新卒で日東電工に入社。その後イスラエルで起業失敗し、帰国後、工場向けAI/IoTベンチャーの事業開発グループリーダーを経て、弊社設立。

MENSA会員。ソフトバンクアカデミア外部12期生。

取締役副社長COO

黒瀬 康太



大分県出身。在学中には自動車プレス工場での勤務経験あり。前職は日本IBMにて多数のAI導入案件に従事。

お客様満足度調査にて3期連続の最高評価を受賞。後に共同創業。

取締役CTO

弓場 一輝



広島県出身。広島大学大学院先端物質科学研究科修了。研究内容はゲノム編集。新卒で共同創業。NVIDIA「GTC 2020」登壇実績や総務省の案件実績あり。

「Startup CTO of the year 2023」ファイナリスト選出。

「Forbes 30 Under 30 Asia 2025」選出。

取締役CFO兼管理本部長

高木 真一郎



京都府出身。在学中に公認会計士試験に合格、新卒であずさ監査法人へ入所。約8年間勤務した後、事業会社にて執行役員経理マネージャーとしてマザーズ上場へ貢献。2022年1月よりフツパーに参画。

メンバー紹介

在籍メンバー

執行役員 / AIビジョン事業部 事業部長

山本 泰弘

新卒で画像検査装置メーカーに入社。

その後製造業に転職、海外拠点でノウハウを伝えながら外観検査自動化チームで勤務、外観検査だけでなく生産管理やIoTシステムの国内外での開発導入に従事、2022年1月よりフツパーに参画。

執行役員 / エンタープライズAI事業部 事業部長

杉山 琢哉

東京大学工学部機械工学科卒業。2005年にアクセンチュアに入社。戦略コンサルティング部門でシニアマネージャーとして製造・小売業向けに成長戦略、新規事業、デジタル戦略等を手掛ける。

2018年よりTBMにて新規事業やリサイクルプラントの立ち上げ業務に従事。

2023年12月よりフツパーに参画。

エンタープライズAI事業部 開発部 部長 / テクノキング・オブ・フツパー

今井 亮太

大阪大学基礎工学部システム科学科卒業後、同大学修士課程を修了。画像生成モデルを用いた自身の研究をコア技術とした大学発ベンチャーの発足に携わる。

新卒でエムスリーにデータサイエンティストとして入社、製薬マーケティングにおけるデータ分析等に従事。2022年3月よりフツパーに参画。

技術顧問 / カーネギーメロン大学 創始者記念全学教授

金出 武雄

1974年に京都大学 大学院工学研究科 博士課程修了。京都大学助教授を経て、カーネギーメロン大学 教授、ロボット研究所所長、現在はカーネギーメロン大学 創始者記念全学教授。

産業技術総合研究所 名誉フェロー、京都大学高等研究院 招聘特別教授。これまでWeRide.ai、Mujin、TELEXISTENCE等で技術顧問。

社外取締役 / 監査等委員

社外取締役

渋谷 順

㈱スマートバリュー取締役兼代表執行役社長。㈱菱和商工に入社後、㈱堺電機製作所へ入社、2003年より同社の代表取締役。町工場からITサービス業へ事業転換を図り、2015年に株式上場。オープンガバメントやモビリティIoT領域、さらに公共財のプロフィットモデルやスポーツ×ITの事業化等を手掛ける。

社外取締役 (常勤監査等委員)

釜谷 芳充

公認会計士。2006年にEY新日本有限責任監査法人へ入所。

2021年に退所後、非常勤監査役として当社に参画、2023年4月より常勤監査役に就任。

社外取締役 (監査等委員)

廣瀬 雄二郎

新卒でNTTへ入社、NTTソルマール㈱の代表取締役として新事業創出に従事。以降はNTT西日本の常務取締役やNTTビジネスソリューションズ㈱の代表取締役を経て、日本IBMとの合併会社である日本情報通信㈱の代表取締役に就任。

その後、NTT西日本常勤監査役監査役会議長を2022年6月まで務める。

社外取締役 (監査等委員)

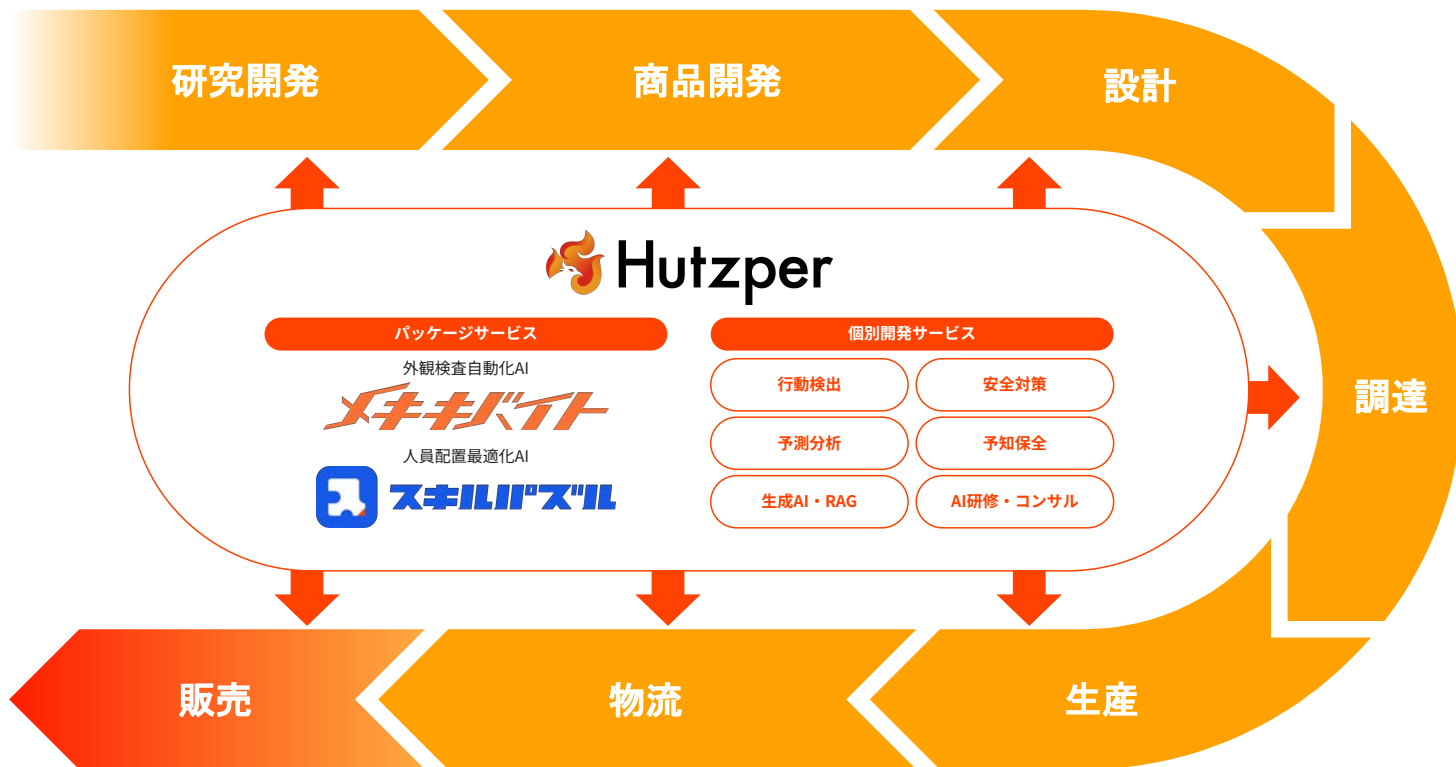
氏家 真紀子

弁護士。2011年に梅ヶ枝中央法律事務所に入所。2018年にパートナー就任。

M&A、金融法務、株式に関連する紛争、資本業務提携や公開買付での意見表明、買収防衛策の導入など、幅広い企業法務の案件を取り扱う。

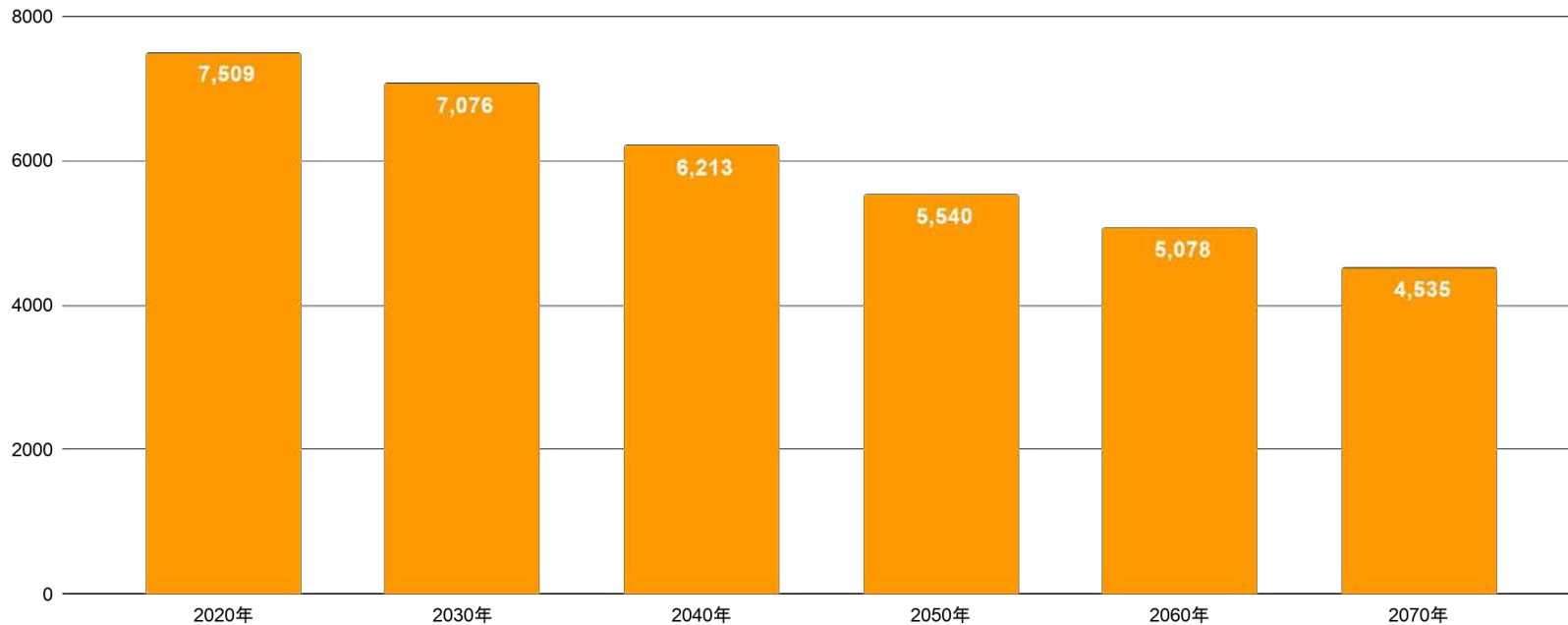
支援領域

パッケージサービスは生産領域を中心に導入、個別開発で周辺領域のニーズにも対応
 製造業DXにおける**個別最適**から、サプライチェーン**全体最適**までを包括的にサポート



少子高齢化により日本の生産人口は減少の一途をたどっており、労働力不足が深刻化

(単位：万人)



(出所) 内閣府「令和7年版高齢社会白書(全体版)」

製造業は国内最大の産業であり、製造業の人手不足の課題をテクノロジーで解決

企業社数

34万社

売上高

387兆円

従業者数

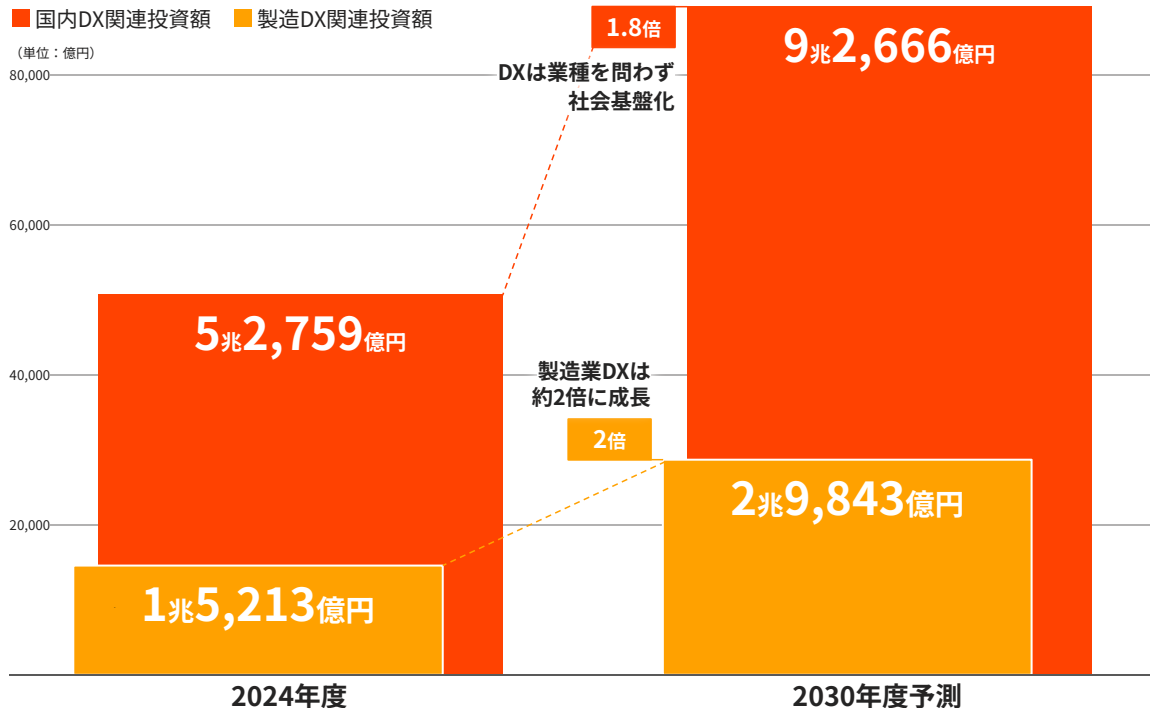
880万人

(出所)総務省統計局「令和3年経済センサス-活動調査」

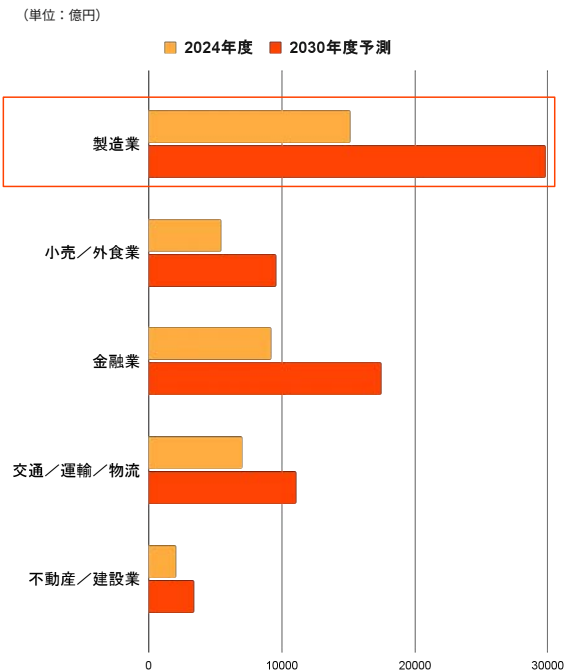
DX市場関連投資額

国内DX市場関連投資額は9兆2,666億円規模へ拡大、2030年には約1.8倍成長見込み

国内DX関連投資額



業種別 2024年度比較 約2倍増加予測



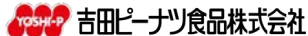
主要取引先一覧

POINT 製造業を中心に特定の業界に偏ることなく、中小から大手まで幅広い顧客層に対してサービス提供ができています。

食品製造



SUZETTE



自動車・機械



KOEI



SunMax



TOYOTA



TECHPORT



NITTOU



MITANI

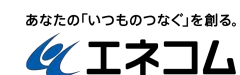
運輸・物流



Inspiration of JAPAN



通信・インフラ・その他



化学・繊維・医薬品



錦城護謨株式会社



Innovation for Customers



ロートは、ハートだ。



電機・電子部品



長州産業



TOSHIBA

サービス紹介

画像認識AIサービス

分析AIサービス

その他AIサービス

メキキバイト

カスタムHutzper AI

スキルパズル

ラクラグ



高精度AIの開発はもちろん
撮像や排除までサポート

“業務理解”×“最新テクノロジー”で
費用対効果にこだわった伴走支援

人的相性や作業負荷まで考慮し
現場が納得感のある計画を実現

セキュリティ対策と精度を両立
様々な業務を安全に効率化

製造業の外観検査をAIで自動化。撮影→検出→排除→品質管理まで一気通貫で対応し、検査工程の人手不足と品質バラツキの課題を解決。すでに食品・電子部品など複数業界に導入実績あり。

最新のAI技術(RAG・生成AI等)を活用し、データ分析からアクション設計まで支援。顧客ごとの業務フローに深く入り込み、事業課題に対して具体的な改善施策を構築。

工数・スキル・勤怠状況をもとに、最適な人員配置案をAIが即座に提案。工場現場での人材不足と配置の属人化を解消し、生産性を大幅に改善。

安心のローカル環境で、社内に眠る膨大な資料・ナレッジ・画像データを有効活用。独自の情報抽出技術・クエリ補強技術により、高い回答精度を実現。

サービスごとの収益構造

サービス		内容	主な原価
画像認識AIサービス		<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px; border-radius: 10px;">ハードウェア</div> 買い切り <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-bottom: 5px; border-radius: 10px;">AI構築+ソフトウェア</div> サブスク or 買い切り <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 10px;">Hutzper Insight※</div> アプリライセンス ライン数に応じた従量課金制	ハードウェアの材料費 エンジニアの人件費 インフラ維持費 等
	メキキバイト以外の画像認識AIサービス	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 10px;">AI構築+ソフトウェア</div> 買い切り	エンジニアの人件費 等
分析AIサービス	CUSTOM 	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 10px;">AI構築+ソフトウェア</div> 買い切り	エンジニアの人件費 等
その他AIサービス		<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 10px;">スキルパスル</div> アプリライセンス 利用人数に応じた従量課金制	インフラ維持費 等
		<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; border-radius: 10px;">ハードウェア ソフトウェア</div> 買い切り	ハードウェアの材料費 等

※ 一部、管理アプリケーション「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアを買い切りで販売する場合もございます。

04 | Appendix

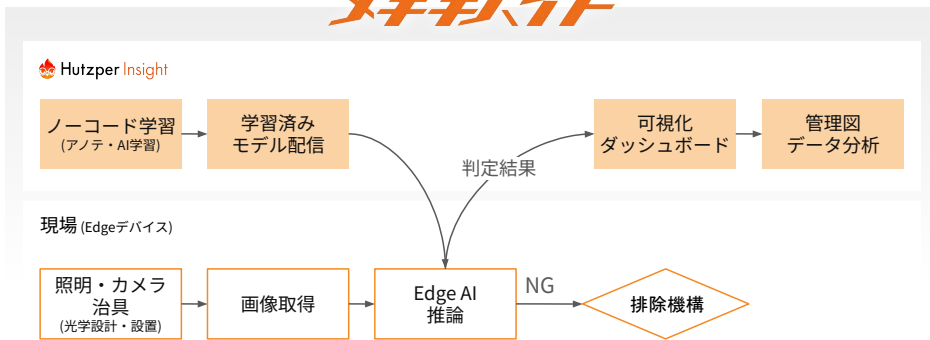
メキキバイト

光学設計からAI構築・運用管理までを包括する 検査自動化プラットフォーム

外観検査自動化AIサービス「メキキバイト」は、製造業の顧客に対し、製造ライン・検査対象に最適化した光学設計（照明・カメラの選定～設置）、不良検出のためのAIモデル構築と排除機構連携、導入後の運用管理までを一気通貫で提供します。

AI判定は現場の産業用PCに搭載したエッジAI※で実行し、高速・安定稼働を担保。運用フェーズではクラウドHutzper Insightを管理アプリとして提供し、顧客自身によるモデル精度向上と品質管理を可能にします。

メキキバイト



※ エッジAI：クラウドに依存せず、現場の産業用PC上で推論処理を行う方式。ネットワーク遅延や停止の影響を受けにくく、高速・安定稼働が可能。

製造業向け外観検査 & 品質管理AIソリューション

メキキバイト



導入ステップ毎の強み

“作る・動かす・育てる”の全工程を切れ目なく提供し
導入後も運用定着まで継続伴走

トータルサポート

データ、ノウハウ蓄積と活用

導入相談

ハードウェア
設計

データ収集

AI構築

運用・再学習

要件定義サポート

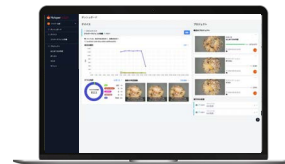
要件定義を伴走し、目的・評価指標・ROI仮説を明確化。

要件定義サポート

「何を・どれだけ・どの条件で」集めるかを設計し、収集/アノテーションを支援。

品質管理機能搭載

管理アプリケーション

 Hutzper Insight


集計・品質管理図 ノーコードAI開発 再学習

同梱の管理アプリケーション
Hutzper Insightで可視化・自動帳票・JIS管理図。ノーコード再学習で継続改善。

高度な光学設計 / 搬送・排除機構を含めた提案



照明／カメラ／治具の光学最適化を実施し、搬送・排除機構まで含めて設計。

最適アルゴリズムの採用 / ルールベース組み合わせも可

ソフトウェア 画像処理 + ディープラーニング

画像処理

(ルールベース)

AI

(ディープラーニング)



対象に最適なアルゴリズムを採用ルールベース併用で精度×説明性を両立。

メキキバイトの特徴

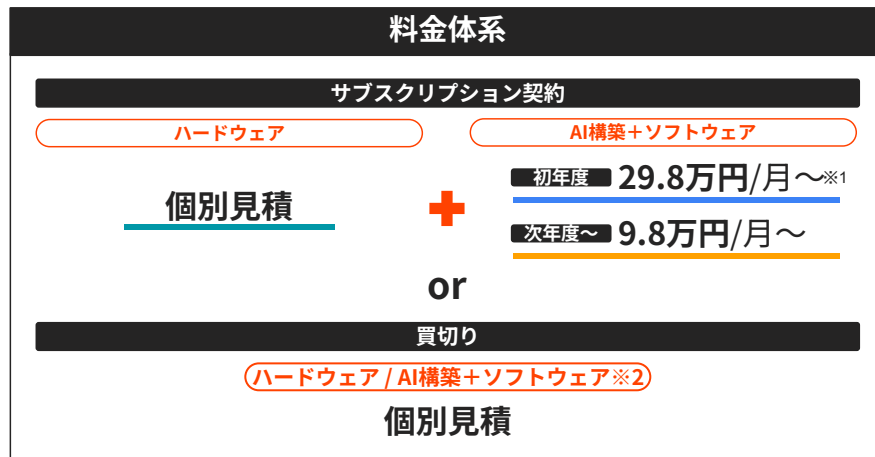
顧客の早期投資回収を実現



サブスク転換 従来AIの数千万円～1億円規模の初期投資／教育費を、**月額課金**に置換。スモールスタートから拡張可能。

伴走一気通貫 データ収集・アノテーション・AI構築・運用支援までを社内標準プロセス化し、**立ち上げにかかる期間を短縮**。

解約耐性 運用定着まで**継続伴走**し、現場発の改善を回し続ける設計。結果として**乗り換え動機が生じにくい**。



※1 AI構築費20万円、Hutzper Insightのライセンス利用料9.8万円の合計金額(AI構築費は初年度のみ発生)

※2 クラウド管理機能である「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアの販売となります



※1 平均単価＝ハードウェアの平均単価＋初年度のAI構築及びライセンス利用料の平均単価＋2年目以降のライセンス利用料

※2 2年目以降のライセンス利用料＝ライセンス利用料の年間平均単価÷(解約率×12)－ライセンス利用料の年間平均単価
解約率は、直近3年間の平均月次解約率を使用

従来より“ばらつき”を抑え、ライン速度を落とさない**再現性ある検査**を実現

現場の課題

目視検査の現場

- ・日や検査員によって検品精度にムラが出る
- ・生産スピードを落とさない判定できない

画像処理センサを導入している現場

- ・多数ある不良、曖昧な基準をルール化しきれない
- ・誤検出が多く、結局人の目で確認している

AIによって解決

現場でブレない、止まらない運用

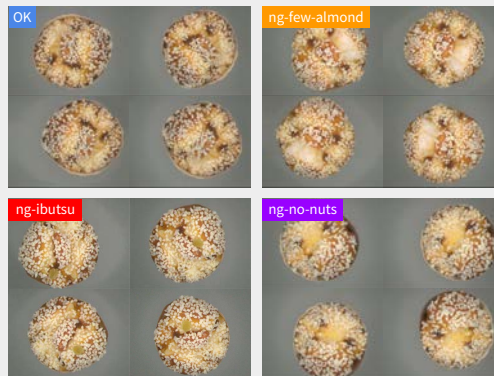
- ・光学最適化+統一基準で日・人差を緩和
- ・エッジ推論でライン追従、再確認回数を低減
- ・AI+ルール併用で“基準の隙間”を補完

運用の見える化と継続改善

- ・クラウド自動蓄積→管理図・自動帳票で変動監視
- ・ノーコード再学習／閾値調整で迅速復帰

※ カップマフィンの検査の例

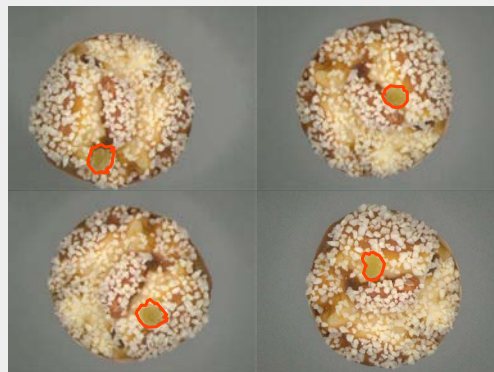
画像分類



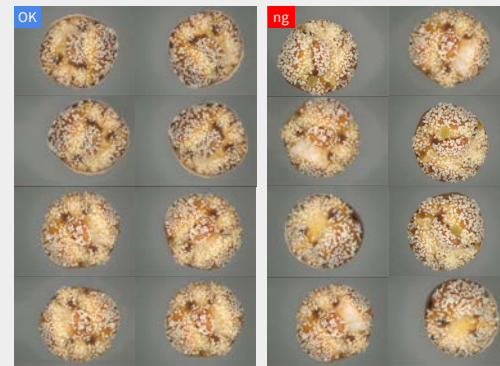
物体検出



セグメンテーション



異常検出



エッジAIで現場を止めずに運用

産業用PC上のエッジAIで外観検査を実行し、ネットワークに依存せず、即時かつ大量処理を実現します。良否の判定基準は現場側で設定・調整でき、ライン条件の変化に合わせた柔軟な運用が可能です。

NGのみを選択同期する特許技術

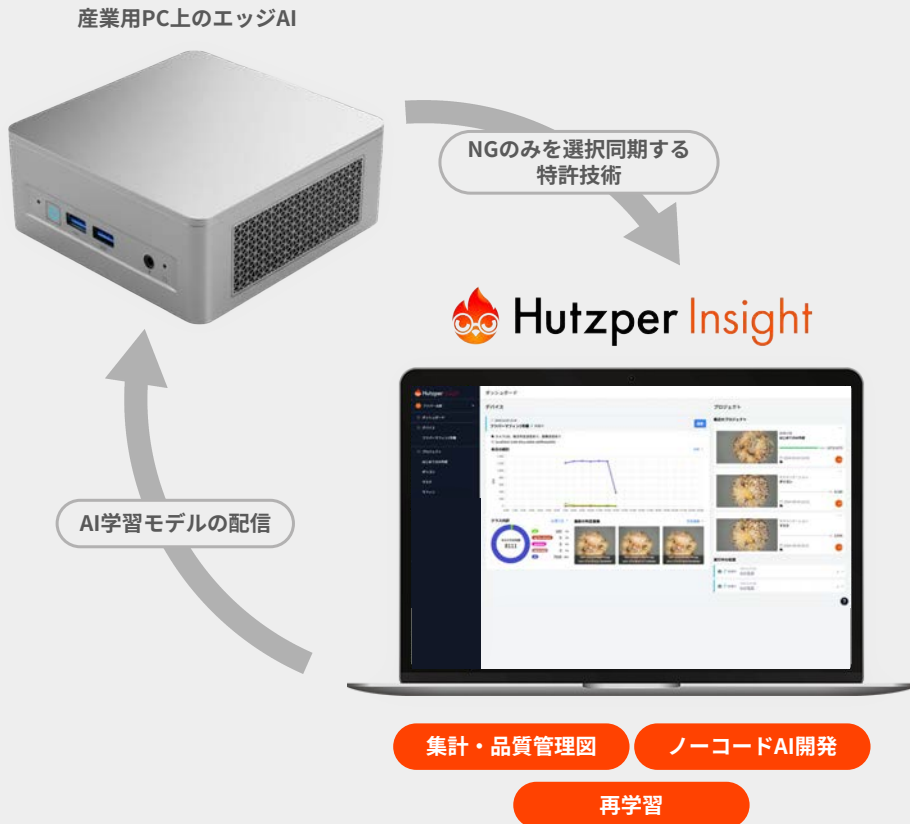
エッジでの検査結果のうち、不良（NG）と判定された画像のみをクラウドへアップロードする特許技術を保有しています。これにより通信・保管負荷と情報リスクを抑えつつ、改善に必要なデータだけを効率的に収集できます。

ノーコードで改善&品質管理

上記技術を用いた外観検査支援アプリケーション「Hutzper Insight」を提供しています。顧客はノーコードで画像の再分類・再学習を行い、AIモデルを自ら改善できます。あわせて、Insight上で品質管理（可視化・帳票・各種管理図）を一元的に実施できます。

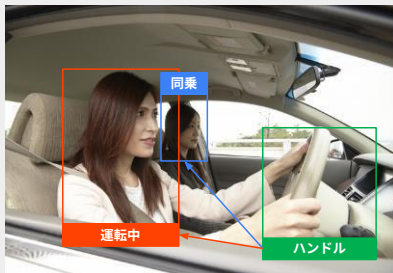
一般的な検査サービスとの違い

一般的な検査システムでは、良否判定データが現場ストレージに滞留しやすく、その後の再学習・品質管理への利活用が進まないケースが多いと当社は認識しています。当社はエッジ×クラウドの分担と選択同期+Insightにより、データを継続的な運用改善と品質管理に直結させる点が特徴です。



メキキバイト以外の画像認識AIサービス

行動検出



人の動きを“可視化”し、リスクを発見

遮蔽物の多い環境でも稼働可能な独自開発の行動検出アルゴリズムを用い、作業姿勢・動線・手順遵守状況を定量把握。IE活動や技能伝承の高度化に寄与。

事例

- ネットワークカメラによる作業時間分析
- 組み立て作業の手順間違い確認

安全対策



AIで“予防型”の安全管理を実現

侵入・転倒・未装着行動などをリアルタイムに検出するAIを開発。NEDO採択案件でも活用されており、建設・製造現場における導入実績を拡大中。

事例

- ネットワークカメラを利用した建設現場の安全点検
- 危険エリア侵入時の緊急停止
- 避難経路における障害物検知システム

POINT

「メキキバイト」で培った画像認識AIの技術を応用し、現場に設営されたネットワークカメラを活用した、作業員の行動分析や安全対策関連のソリューションを提供。エッジ判定でリアルタイムの現場機器連携が必要なものから、クラウド判定での遠隔監視支援まで幅広く対応。

AIスペシャリストによる現場特化のDX

顧客ニーズに応じて、現場データの解析からAI実装までを行うAI構築支援サービス

現場の課題解決へのこだわり

製造現場を中心に多数のAI分析案件を手掛けてきた知見を活かし、課題発見 → 分析設計 → AIモデル構築 → 業務フローへの実装 → 運用・改善までを一貫して行い、PoCで終わらない、実際の業務フローに組み込まれたAIを提供。顧客の現場課題を正しく把握したうえで、コンサルティング、設計、開発、運用、そしてMLOps（AIの継続運用体制）の構築まで支援します。

最新AI技術に精通した専門人材が支える技術優位性

当社には、AI・データ解析・ソフトウェア開発の各分野において、最前線の技術を理解し実装できる専門人材が揃っており、組織として最新技術のキャッチアップを体系的に行う体制を整えており、常に変化の早いAI領域に対応できる柔軟性があります。生成AI領域においても、高度なカスタマイズ力と技術実装力を強みに、LLMやRAGを実務レベルで活用できる仕組みづくりを支援しています。これらの技術基盤とチームの総合力により、製造・物流・建設・サービスなど多様な業界に向けて、生成AIを含む技術難易度の高い案件にも対応できる組織力と開発力を有しています。

CUSTOM

Hutzper Ai

生成AI・RAG
3D・4D
LLM・LVLM

データ分析
アルゴリズム

企画構想力
現場経験・実装

現場を熟知したAIの専門家チームが
課題解決に繋がるDXをご提案します。

カスタムHutzper AI 導入事例

POINT 製造業で培った知見と実績を基に、分析設計からAIモデル構築まで潜在ニーズに応えるサービスを提供。

データ分析



現場データを**未来の意思決定**へ

在庫・需要・設備データなどを統合し、**業務別の予測モデル**を実装。精度だけでなく運用性を重視した分析設計により、現場実装率の高い**意思決定支援AI**を実現。

事例

- センサデータ解析および排水処理手法の最適化
- 車両走行時データおよびドライバー官能評価結果の相関分析
- 航空写真の解析および遊休地の選定

予測



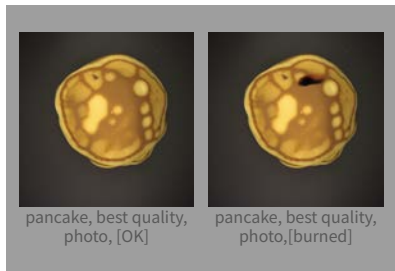
未来を見通し、**精度の高い意思決定**へ

現場データをもとに、先を見据えた需要予測や故障予兆を実現。データ活用により突発的なリスクを最小化し、安定したオペレーションを支援します。

事例

- 港湾コンテナターミナル在庫予測システム
- 輸送機器における交換部品の需要予測
- 車両整備データ実績を元にした車両パーツの故障予測および整備提案最適化

生成AI



生成AIを、ものづくり現場の**武器**に

RAG・LLM・3D/4D生成モデル生成、不良画像教師データ自動生成など、幅広い領域に対応。生成AIの活用研修や業務改善サポートにも提案可能。

事例

- RAGを活用した研究開発アシストシステム
- 外観検査の不良画像生成AI

最適化



現場フローを**最短・最適**に

物流や製造工程における動線や配置を最適化。作業効率最大化とコスト削減を実現し、現場の生産性を高めます。属人的な判断に依存せず、持続的な改善を可能にします。

事例

- 物流倉庫における商品配置と歩行距離の最適化
- トレーラーへの建材荷積み最適化システム構築

ローカルLLM「ラクラグ」(らくらくRAG)

POINT 社内データを外部環境に一切出すことなく**専用LLMを構築**、あらゆる質問に対して**業務に最適化された生成AI**と対話が可能

質問入力

このトラブル前にもあった？

この資料に似たやつあったっけ？



ラクラグ



最新GPU搭載
増設も可能



最新AIモデル
常時提供

独自の
情報抽出技術

独自の
クエリ補強

安全・安心
完全ローカル環境
(クラウド等の外部環境への接続なし)

ハードとソフトのワンパッケージ
複雑なセッティング不要で、すぐ使える

回答出力

横断検索
要約/ポイント抽出
整合性チェック
問合せQ&A
ドキュメント自動生成

etc...



パワーポイント、PDF
画像...様々な形式に対応

ビジネス文書

各種企画書
議事録 報告書
見積書 報告書
契約書...

規則・マニュアル

内部マニュアル
就業規則
制度ドキュメント

設計・技術

設計書
設計図面
カタログ
ソースコード

調達・在庫・購買

在庫リスト
購買発注書
トラブル対応履歴

品質改善関連

不具合報告書
改善提案書
品質レポート

研究・調査

研究レポート
過去アンケート

機密データを含む**多種多様な社内資料**に対応

生産(作業)計画・スキル・勤務状況から 最適な人員配置をAIが提案

計画業務を効率化し付帯業務を削減

複雑な人員配置やシフト調整をAIが自動化。属人化していた業務の時間を削減し、現場の管理負担を軽減。

計画平準化で働きやすい職場を実現

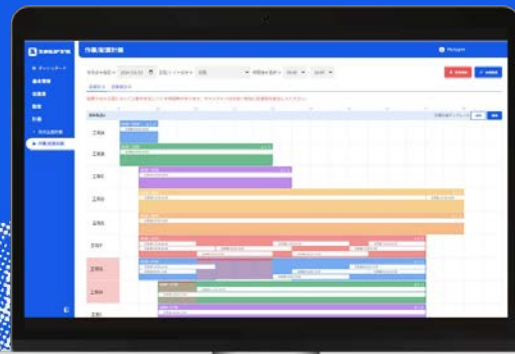
休暇希望や個人条件を踏まえた平等なシフト設計が可能。偏りのない計画で、現場の納得感と定着率の向上を支援。

最適な人員配置で生産性を最大化

スキル・稼働状況・経験をもとに、最適な人材を自動で割り当て。ムダのない人員配置で、作業効率と生産性の向上を実現。

力量に基づく評価で組織力を底上げ

個々のスキルや資格を見える化し、配置と評価に反映。力量に応じた育成計画と適材適所を実現。



導入事例 手作りお菓子の外観検査



メキキバイト

「何万枚」もの目視検査を、再現性のある運用へ

概要 老舗洋菓子メーカー・銀座ウエスト様にて、包装後製品の目視検査をAI×光学設計で自動化。検査基準の再現性を高めつつ、検査体制の省力化と継続的な運用改善を実装。

開発背景・課題



メキキバイト導入前の目視検査の様子

何万枚もの検査を人の目で対応していた

人員不足と長時間労働 繁忙期は多くの人員が必要となり、担当者が深夜まで残業し、月間の残業時間も相当な時間数に。

生産性の限界 検査に人員を集中させるため、製造から梱包まで全体の生産効率に影響が発生。

検査品質のばらつき 目視ゆえの見落とし、疲労による精度低下、新人育成とスキル平準化も困難になっていた。

機能概要・導入効果



リーフパイのサイズに合わせたガイドで回転や乱れを防止。広台設置により効率的な作業にも対応

メンテナンス性への配慮

- 片側集約設置でメンテ容易に
- 砂糖・破片対策として照明へ定期エアブロー機能を設置
- 清掃性を重視し光学機器は上下稼働可能な形式に



昇降コンベア+スライドシュートでワーク損傷を抑えつつ回収性を高め、他工程製造～包装に効率よく連携

導入後のサポート

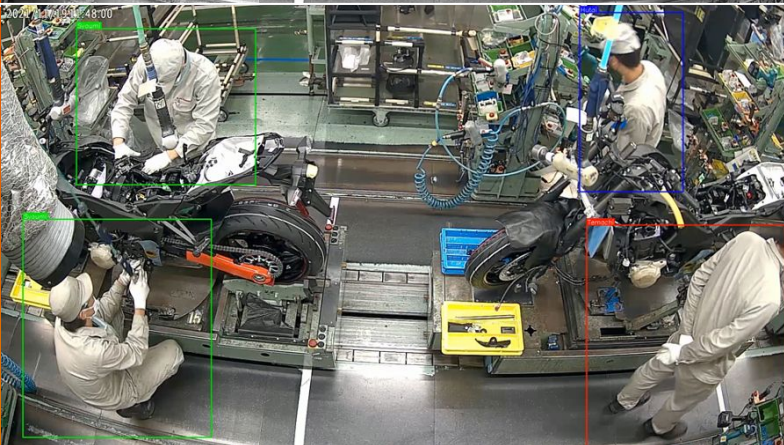
導入初期の想定外にもウエスト様と二人三脚で日次連絡・週次現地対応を重ね、現場合意の品質管理基準まで伴走。その過程で強い信頼関係を築きました。

数字で見る導入後の劇的な変化

配置最適化・生産性向上 検査工程に多くの人員を割っていたが、AI導入により同工程をわずかな人数に削減

残業時間の大幅削減 検査工程：繁忙期の22時頃までの残業が、**ほぼ残業なし**に改善
製造工程：月間残業時間が大幅に削減
(約20%減)

検査精度の向上 NG画像の選択同期→Hutzper Insight上での学習・品質管理により、**使うほど精度が向上する**運用へ。



Kawasaki
Powering your potential

川崎重工業株式会社とモビリティ組み立てラインにおける行動分類AIの構築

ビジネスアイデアの概要

AIをはじめとしたテクノロジーの積極的な導入を目指す川崎重工株式会社と弊社は、関連会社であるカワサキモータース株式会社の組み立てラインに設置されたネットワークカメラの動画から、行動(正味/付帯/手待ち作業)を分類するAIモデルを構築。

骨格検出を用いない分析手法を用いることにより、ツールなどの障害物に影響を受けにくい形で行動を分類。動的に各行動の時間を測定可能なシステムを構築することで、さらなる生産性の向上を目指す。

導入事例 研究開発 AIエージェント



ロートは、ハートだ。
Rohto × **Hutzper**

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品

リアラボAI

ロート製薬株式会社との共同開発による 研究開発AI『リアラボAI』



CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門を受賞

概要 リアラボAIは、当社技術顧問・金出武雄教授（カーネギーメロン大学）の監修のもと開発した統合型AIエージェントです。

開発背景・課題

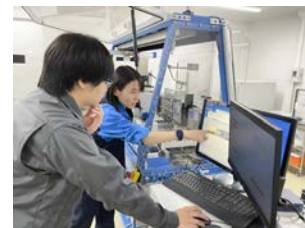
- 標的探索段階でのデータ探索・解析設計、処方設計→実験実行
- 膨大なデータベースから目的に適したデータを探し出す作業
- 解析のための前処理やパラメータ調整
- 処方設計のための情報収集
- 実験手順の作成や実験ロボットへのプログラム実装

これらの非創造的な作業に**多大な時間**が費やされ、かつプロセスが**属人化**しているため、解析の再現性確保や専門ツールの利用が一部の研究者に限定されていた。

機能概要・導入効果



自然言語対話で**データ探索→解析→処方設計→実験ロボット制御**までを連続実行し、ドライ×ウェットを跨ぐ統合型AIエージェントを開発することにより、**属人作業の標準化と再現性向上**を実現。



開発の様子

今後の展望

CEATEC AWARD 2025 ネクストジェネレーション部門の受賞を機に、医薬・化粧品・食品などヘルスケア/バイオ領域への社会実装を加速し、共創領域の拡張（化学・材料等）と、標準化プロトコル/運用指標の確立を目指します。また、展示・共同実証を通じた導入モデルの磨き込みと横展開を想定しています。

導入事例 港湾コンテナターミナル内在庫予測システム

Forbes
Xtreprenuer
AWARD
2024

Forbes
Xtreprenuer
AWARD
2024

「Forbes JAPAN Xtreprenuer AWARD 2024」
ノミネートプロジェクト

Xtreprenuer

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品

 Hutzper

CUSTOM
Hutzper Ai

AIを利用した港湾コンテナターミナル内 在庫予測システムの開発

ビジネスアイデアの概要

山九株式会社・株式会社インフォセンスとの三社共同開発プロジェクト

東京港にて、将来1ヶ月間のAIを用いたコンテナ在庫予測を実施。
過去実績データや航路情報、経済指標を活用して予測することで高精度を実現。
本システムを他港の各港湾利用会社にも展開することで、共通の予測結果を元にターミナルオペレーションを効率化し、待機時間やバンプール退避時間の短縮を図り、全体最適を目指す。

導入事例 物流倉庫でのスキルパズル活用



属人化していた人員配置業務をスキルパズルで標準化

開発背景・課題

- シフト取り纏め作業+配置計画作業に時間がかかる (6-7時間/週間+a)
- 毎日のように突発休暇者がいるのでその都度組み換え作業が発生し手間がかかる
- スキルや人的相性を把握している方が1名しかおらず、配置計画作業が属人化している

Before



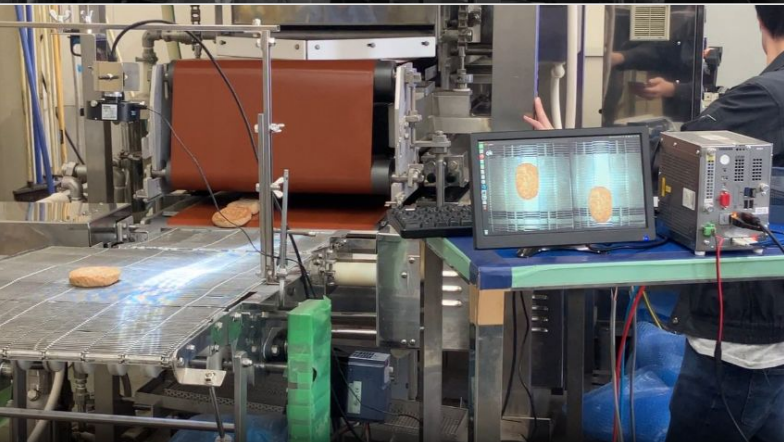
管理者は紙ベースでシフト希望を集約。
 作業員のスキルや相性を考慮し、1週間単
 位で人員配置を計画。
 完成した計画は、紙で日別に掲示し現場へ
 通知していた。

After



- シフト取りまとめ作業+配置計画作業の
 省力 (1時間/週間)
- スキルマップの形式化、配置計画作業の標準化
- 突発休発生時の組み換え作業の迅速化

導入事例 不良ゼロのスマートファクトリー実現を目指した取り組み



TOSHIBA SunMax

クラウド型PLCと外観検査AIを活用した歩留まり改善システムの実証実験

東芝インフラシステムズ株式会社「Meister Controller Cloud™ PLCパッケージ typeN1」と製造業向け外観検査&品質管理AI「メキキバイト」を活用したスマートファクトリーの実現

連携設備：サン・プラント工業株式会社「焼成機/SM-TGC450-2000」

ビジネスアイデアの概要

複数工場/複数機器から収集される大量のデータを利用して、各工場/工程における最適製造条件をAI活用で算出し、クラウド型PLCで一括制御をおこなうことで、工程の省人化・歩留まり改善を図るシステムを構築する。

食品加工機械メーカーのサン・プラント工業株式会社ご協力のもと、上記構想の第一段階として、ハンバーグの焼き具合(生焼け/正常/焦げ)を判定し、ローカルで自動調整するシステム構築の実証実験を実施。

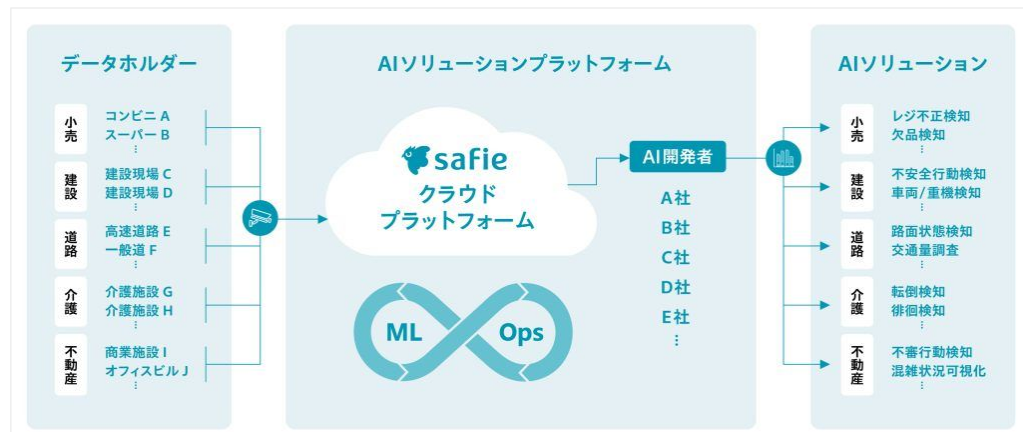
外観検査AIで焼き具合判定・不良品排除→クラウドサーバー上で不良品発生原因をAI分析し、最適条件の算出→オープンの温度・スピードをクラウド型PLCによりコントロール。

今後は工程全体の機器、複数工場にまたがるデータを収集・制御し、そもそも不良を作らない工場、省人化を実現したスマートファクトリーの実現で、食品ロスなど事業系廃棄物の削減を目指す。

映像 × AI で「現場の危険」を見える化する

概要

クラウド録画サービス国内シェア No.1・セーフイー株式会社との事業連携
建設現場における不安全行動検出 AI の共同開発（NEDO公募採択）



導入事例 3Dアニマルツイン技術を用いた 牛の体重／採食量推定システム



Marubeni × **Hutzper**

食品製造業

物流

製造業

ゼネコン

一次産業

医薬品

一次産業にAIの眼と脳を

概要

- 3D画像解析技術を活用し、カメラ1台から牛の体重および採食量を非接触で推定
- 飼育現場の労働負荷削減・家畜データの可視化を実現

撮影

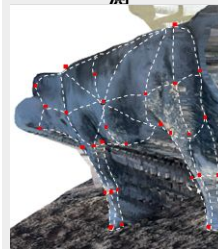
RGBDカメラで撮影



非接触

各部位の 表面長を計測

表面上での距離を計測



体重/採食量算出

- 140を超える空間特徴量の取得
- 月齢や種別、性別といったメタデータをもとに体重を算出
- 完全ローカルにて高速に判定



データ蓄積

- BeecoProgramプラットフォーム※での管理・運用
- 現場の情報をタイムリーに飼料会社、金融機関等に共有



項目	内容
社会課題	畜産業の人手不足／成長把握が不完全
技術的優位性	周回することなくカメラ1画角から高速に判定／固定式にも対応
将来展望	飼育最適化・疾病予測／他分野(物流・建機)へ展開

※生産者、飼料会社、獣医師等向け丸紅プラットフォーム：<https://beeco.eco/>